

令和元年度第2回成田市保健福祉審議会子ども・子育て支援部会
会議結果概要

1 開催日時

令和元年11月1日（金） 13：30～15：00

2 開催場所

成田市役所 行政棟6階 大会議室

3 出席者

（委員）

青木部会長、高橋委員、根本委員、林委員、倉澤委員、植田委員、
古川委員

（事務局）

健康こども部：田中部長

福祉部：木下部長

子育て支援課：坂本課長、伊藤課長補佐、高仲主幹、根本主査、在田主任主事

保育課：小林課長、宮崎主幹

健康増進課：長谷課長、谷下田主幹

社会福祉課：多田課長

障がい者福祉課：平山課長

4 議題

（1）第2期成田市子ども・子育て支援事業計画（素案）について

5 配布資料

- ・会議次第
- ・第2期成田市子ども・子育て支援事業計画（素案）

6 議事

○議題（1）子ども・子育て支援に関する現状と取組について

（「第2期成田市子ども・子育て支援事業計画（素案）」に基づき事務局から説明。主な質疑応答は、以下のとおり。）

委員：29ページ「（1）多様なニーズに対応した教育・保育環境の整備・充実」において「本市の特性に応じた環境の整備と充実」とあるが、「本

市の特性」とは具体的にどのようなことか。

：29ページ「(2) 地域ぐるみで子育てを支援」において、一文章が長い部分がある。

：30ページ「(4) 子育てしやすい環境づくり」において、「保護者」という単語が多用されているが一部を省略してはどうか。また、接続詞の「一方で」を「しかしながら」に変えてはどうか。

事務局：「本市の特性」とは成田空港を要しており就労環境も様々であるという状況などを指している。また、他市に比べて働く母親が増えてきているという状況も本市の特性と言える。

：文章の言い回し等については適宜修正を検討する。

委員：14ページ「②児童ホームの待機児童の状況」において、平成29年度が極端に少なくなっているのはなぜか。

事務局：年度や学年により利用状況が大きく異なるため、理由の特定は難しい。

部会長：24ページで病児・病後児のための保育施設等を利用したいとは思わなかった方が多いようである。病児・病後児保育施設の存在を知らなかったために利用しなかった方も「利用したいと思わなかった」に含まれているか。

事務局：知らなかった方も含まれている可能性もあるが、わが子は自分で看病したいという意向もあったと思われる。いずれにしても、今後も施設の周知を図っていきたい。

部会長：すばらしい施設なのでぜひ多くの方に利用していただければと思う。

委員：4ページに「ヒアリング調査」とあるか何世帯からヒアリングしたのか。

事務局：なりすくに携わっている市民ボランティア8名から意見をいただいている。

委員：34ページの母子保健について、妊婦や子供が生まれてからの支援は充実してきていると思うが、不妊で悩んでいる方やつわりが酷い方に

対して、妊娠前や妊娠中の支援は行っているか。

事務局：不妊・不育に係る治療費について助成する制度がある。女性だけでなく男性も対象としている。妊娠を望まれている方の相談窓口として、子育て世代包括支援センターも機能している。

委員：母子・父子家庭を対象とした招待事業を実施していたと思うが、なぜなくなったのか。

事務局：国や県でも母子家庭・父子家庭の自立支援に力を注いでおり、市もそちらの施策に力を入れたいと考えたためである。また、親子で遊べる場所が増えてきているという状況もあるので、招待事業については現在実施をしていない。

委員：自立支援とは具体的に何か。

事務局：生活支援、就労支援、経済支援を行っている。

委員：招待事業は今後実施しないのか。

事務局：現在のところ再開の予定はない。

委員：子ども館を利用しているときに、駐車場が狭く利用できなかったことがある。成田市内には車で生活している人が多いため、市内に3か所あるなかよしひろばの駐車スペースが十分確保できるとよいと思った。

- ：以前はなかよしひろばの職員から声掛けしてくれることはなかった。現在の状況はわからないが、職員から積極的に声を掛けていただくことで、話ができる親御さんもいると思う。
- ：48ページ「早期療育体制の充実」について、1歳児健診や1歳半健診の際に保健師との面談で「何かありますか。」と聞かれるが、なかなか答えることができない。具体的な質問であると保護者も答えやすい。

事務局：なかよしひろばの駐車場については、物理的な制約もあるため利用の際は乗り合わせ等でのご利用にご協力いただきたい。なかよしひろばでの職員の対応については貴重なご意見として参考とさせていただきます。

- : 健診については事前に問診票を記入してもらい、聞きたいことや気になることについて事前把握している。また、面談中に気になる部分があった際には聞かせていただいている。
- : 計画書に具体的な記述として記載することは難しい。しかし、実務上配慮すべき点として、検討・対応していきたい。

部会長：虐待の問題について、どのように対応するか、具体性を持った取り組みをお願いしたい。

委員：33ページ「⑥経済的困難を抱える家庭への支援」は第2期計画から新たに追加した内容であるとのことだが、代わりに減ったものはあるか。

- : 子育て支援に対する予算はどうなっているか。児童数が減少すると減少するものなのか。
- : 第1期計画と第2期計画で施策体系がどのように変わったかということがまとめられていればよかったと思う。
- : 児童虐待は増加傾向にあると思うが、それに対してどのような対策をとっていくのか。

事務局：第1期計画から減らした施策はない。基本施策を1つ増やした。

- : 予算については、児童数は減っているが、それにあわせて減らしていることはなく、母子家庭・父子家庭の自立支援に力を入れていることなどから増えている事業もある。
- : 通報が増えているのは事実。通報があった場合には48時間以内に安否確認をすることとなっている。児童相談所など様々な団体と連携をとって取り組んでいきたい。

委員：33ページ「⑥経済的困難を抱える家庭への支援」が追加されたとのことであったが、現時点でこれについて進めている具体的な取り組みはあるか。

事務局：貧困対策が新たな課題となっているため基本施策として記載させていただいた。記載の事業は現在実施しているものである。

- : 貧困対策に係る計画を策定していくに当たり、新規事業が出てくると考えられる。貧困対策に係る計画を策定する際には、市としてアンケートを実施することも考えられる。

部会長：60ページの平成30年度の実績について、確保方策が量の見込みを上回っていると思うが。

事務局：ご指摘の通りであるため数値を訂正する。

部会長：本日、委員の皆様からいただいた意見を保健福祉審議会に報告する。